

校長室の窓から

みんなちがって、みんないいのです

(7月3日 朝会校長の話より)

みなさん、これ何だか分かりますか？見たことある人？「ぼしてちょう！」そのとおりです。正式には「母子健康手帳（ぼしけんこうてちょう）」と言います。みなさんも生まれた時に作られて、お母さんが大切に持っていたものです。中にはどんなことが書いてあるんだろう？分娩所要時間なんて書いてある。赤ちゃんを産むまでに8時間45分かかった、出血量120mlって書いてあるよ。お母さんは本当に大変だったんだね。君たちもこうやって生まれてきたんだよ。お母さんに感謝だね。

他に何か、「おやっ」と思うことはありませんか？ここに、性別に○を付けるところがありますね。男、女・・・そのとなりには「不明」って書いてあります。「不明」って一体どういうことでしょうか？これは「男か女か分からない。区別できない」

ということです。つまり、生まれた時の赤ちゃんが、お医者さんでも男か女が見分けられない、分からないときがあるので、男、女のどちらでもない「不明」という欄があるんだね。

出産の状態	
このページは産後なるべく早く記入してもらいましょう。	
妊娠期間	妊娠 40週 1日
娩出日時	年 月 日 時 分
分娩の経過 (母児の状態)	胎位 骨盤位 その他() 特記事項 産後出血
分娩所要時間	8時間45分 出血量 少量・中量・多量(120ml)
出産時の 児の状態	性別・数 男・女・不明・多(胎)
	計測値 体重 2715g 身長 45.5cm 胸囲 31.5cm 頭囲 33.1cm
	特別な所見・処置 仮死産→(死亡・蘇生)・死産
証明	出生証明書 死産証明書(死胎検案書) 出生明書及び死亡診断書
出産の名	「不明」って何だ？
分娩取扱者名	助産婦



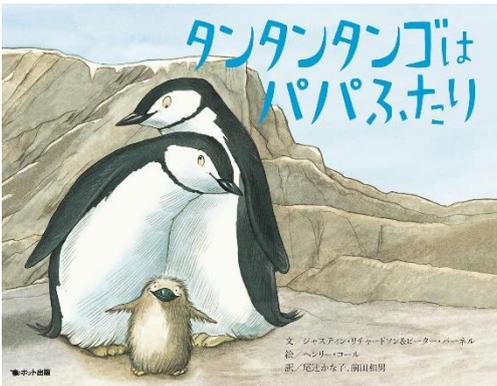
「LGBT」この言葉、聞いたことがある人いますか？あ、何人かいますね。

「LGBTQ」という時もあります。「L」はレズビアンと言って、女の子が女の子を好きになる人。「G」がゲイと言って、男の子が男の子を好きになる人。「B」はバイセクシャルと言って、男の子も女の子もどちらも

好きになる人。「T」はトランスジェンダーと言って、自分は心の中で女の子(男の子)だと思っているのに体つきは男の子(女の子)という人。「Q」は自分でもどちらか分からない、分けたくない、という人です。

あまり、イメージが湧かないので、有名なタレントさんで見てください。この人たちは分かるよね。そう、「○○○○さん」「○○○○さん」この人たちもそうですね。この二人「LGBT」であることは、周りの人たちからもしっかり理解されているから、自分自身が「LGBT」であることを人前でも堂々と言うことができます。

実は「LGBT」は人間だけではありません。ペンギンはオス同士でペア(パートナー)になる



時があって、オス同士で夫婦のようになって卵を温める時があります。「タンタンタンゴはパパふたり」という絵本がありますが、実際にあるペンギンのお話がかかれていて読みやすいので、1, 2年生にお勧めの本です。コアホウドリはメス同士がペア（パートナー）になる時があります。キリンはオス同士でペア（パートナー）になるときがあります。カクレクマノミに至っては、自分の体の大きさに合わせて、性転換（オスがメスに変わる）

するのだそうです。すごいね。

動物の世界でも「LGBTQ」があるのですから、人間でも「LGBTQ」があるのも何ら不思議ではありません。むしろ、普通のことですね。

でも、ほとんどの「LGBTQ」の人たちは、人に言えない悩みを多く持っています。「友達や親に本当のこと言えない」「トイレに行けない」「制服のスカートを履きたくない（履きたい）」「周りの人に理解されないのでは？」「ばれたらどうしよう？」……などなど。

日本の憲法（きまり・ほうりつ）第11条に基本的人権（きほんてきじんけん）というのがあります。5, 6年生は社会で勉強したかな？これからかな？基本的人権とは、すべての国民が生まれながらにして持っている権利です。誰もが命や体の自由を大切にされ、人間らしく生きる権利を持っている、ということが日本では法律で決められています。



簡単に言うと、どんな人にも人間らしく生きる権利があるのだから、人の嫌がることをしたり、言ったりしてはいけないということです。いじわる、暴言（悪口、陰口、ひどい言葉）暴力（たたく、蹴る）は絶対してはいけない。つまり、どんな人に対しても“いじめは絶対ダメ”なんだって法律で言っているのです。

昨年「LGBTQ理解推進法」という法律もできましたが、日本はまだまだ「LGBTQ」の人たちへの理解は進んでいません。皆さんには、今日の校長先生の話聞いて「LGBTQ」の人たちのことを聞いて、しっかり理解してくれたと思います。皆さんには、相手の悩みを聞いてあげられる人、どんな人でも認め、仲良くなれる人になってほしいと思います。

みなさんがこれから、学年が上がり、中学、高校、大学に進んでいけば、必ずと言っていいほど、「LGBTQ」の友達と出合うと思います。ぜひ、明石台小学校の子供たちには、今日の話を出し、そのような友達の悩みを聞いてあげられるやさしい人間になってほしいと思います。